

百十四銀行ミニディスクロージャー誌
平成27年9月中間期

第147期 営業の中間ご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

BANK REPORT

2015



地方創生



地域とつながる まちとつながる ひととつながる

海外に関することはおまかせください!

課題解決を
サポート!!

現地取引を
サポート!!

安心を
サポート!!

114の金融教育 小学生・中学生・高校生向け

BARBAPAPA

©2015 Alice Taylor & Thomas Taylor All rights reserved.

114BANK mini Disclosure

ごあいさつ



取締役頭取 渡邊智樹

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「平成27年9月中間期ミニディスクロージャー誌・第147期営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いに存じます。

さて、当中間期のわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速を背景に、輸出や生産に弱い動きがみられたものの、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向で推移するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

一方、地域金融機関を取り巻く経営環境は、少子化・高齢化や人口減少による地域経済の成長鈍化が懸念される中、地域を越えた銀行間競争の激化、他業態からの金融業務への参入など一段と厳しさを増しております。

当行は、このような環境下、2年目をむかえた中期経営計画「**ベスト・パートナーズ・プラン**」(計画期間：平成26～28年度)において、目指すべき姿を「地域とお客さまの未来に貢献する金融サービス集団」と位置づけ、「リテール取引の徹底推進」、「市場運用力の強化」、「組織力・人材力の強化」を着実に進めております。

中長期的な将来においても、円滑な資金供給はもとより、多様化するお客さまのニーズにお応えできますよう、金融サービスの充実を図りますとともに、地方創生にも積極的に関わるなど、地域の皆さまのお役に立てる存在であり続けられるよう、継続的に取り組んでまいります。

あわせて、皆さまから揺るぎないご信頼をいただけますよう、環境保全や社会貢献などのCSR活動、及びコンプライアンスや顧客保護にかかる内部管理体制の一層の充実に、当行グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

PROFILE

(平成27年9月30日現在)

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	310,076千株
創業	明治11年11月1日	従業員数	2,371人
総資産	4兆6,387億円		124店舗
総預金	4兆371億円(譲渡性預金を含む)	店舗数	(本支店103、出張所21)
貸出金	2兆7,270億円		海外駐在員事務所 2
資本金	373億円		(上海・シンガポール)
		店舗外ATMコーナー	177カ所 223台

※本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

CONTENTS

ごあいさつ	1
経営理念・中期経営計画	2
地方創生	3
海外に関することはおまかせください	5
114の金融教育	7
業績ハイライト	9
経営の健全性について	11
株式情報	12
財務データ	13

経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

中期経営計画

計画期間：平成26年4月から平成29年3月まで（3年間）

ベスト・パートナーズ・プラン

計画全体の体系図

目指すべき姿 地域とお客さまの未来に貢献する金融サービス集団

I. リテール取引の徹底推進

お客さまそれぞれのパートナー

法人営業戦略

- ・コンサルティング営業の深化
- ・地域戦略の明確化

個人営業戦略

- ・リレーションの拡大
- ・ライフプランニング機能の強化

お客さま接点の拡大 営業の質的向上

II. 市場運用力の強化

分散投資による
ポートフォリオ運営

積極的なリスクテイク

最適ポートフォリオの構築

機動運用の活発化

チャネル・プロセス変革

リスクモニタリング

人材育成

III. 組織力・人材力の強化

人材力の強化

事務プロセス改革

IT戦略

リスク管理

コンプライアンス

（行動指針）お客さまファーストの徹底

お客さまのことを第一に考え、お客さまが心から満足する価値を積極的に提供することを行動指針として、「リテール取引の徹底推進」「市場運用力の強化」「組織力・人材力の強化」に取り組み、地域とお客さまの未来に貢献することをめざします。

地方創生

国が定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地方創生・人口減少等克服のため、地域金融機関には「産官学金労言」と連携するとともに、自らの知見を活かした積極的な関与が求められています。

当行は、まちやひととの繋がりを大切にして積極的に地方創生に取り組んでまいります。



地域とつながる

瀬戸内地域の活性化を強力にサポート!!

地銀7行、日本政策投資銀行、瀬戸内ブランド推進連合
「瀬戸内地域の観光産業の活性化に関する協定」
「瀬戸内ブランド推進体制に関する協定書」を締結

瀬戸内地域の観光事業の活性化と瀬戸内ブランドの推進に取り組みます!



Topics

瀬戸内国際芸術祭2016 開幕!!
第3回となる瀬戸内海の島々と港を舞台に開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が2016年3月より開幕します!

当行行員も各会場の
ボランティアスタッフとして
協力しています。





まちとつながる

地域経済の活性化を強力にサポート!!

香川県、高松市に加え

観音寺市、三豊市、丸亀市、さぬき市 と新たに連携協定を締結

相互の人的・知的資源を活用し、地域社会の産業振興と持続的発展を目的に締結しました。



ひととつながる

ビジネスチャンスの拡大を強力にサポート!!

お客さまの課題解決と お客さまどうしがつながる機会をご提供

創業から事業承継まで、お客さまの事業をトータルサポートできる体制を整えています。

各種ご相談に応じることはもちろん、セミナーや商談会を積極的に開催し、有益な情報やビジネスマッチングの場のご提供につとめております。



インバウンド対応セミナー



食品商談会

海外に関することは 114BANK International Services おまかせください!



課題解決をサポート!!

- 貿易決済(輸出入・LC取引など)、為替リスクヘッジなど、海外との取引におけるお客さまの課題解決をサポートします。
- 旬なトピックスをテーマとするセミナーの開催、海外視察ミッションを通じ、海外ビジネスに役立つ情報をご提供します。



食品輸出に向けた
ハラール・コーシャセミナー

開催実績

食品輸出に向けたハラール・コーシャセミナー

イスラム食品市場における「ハラール」についての基礎知識、各国で異なるハラール認証制度等に関する考え方や注意すべきポイントなどについてご説明しました。

ベトナムビジネス視察ミッション2015

チャイナプラスワンとして注目されるベトナムへの視察ミッションを実施し、開発区や現地に進出されている日系企業、政府投資促進機関などを訪問しました。

これから面白い中国ビジネス。
全力でサポートします!

所長:塩田哲也



中国(上海)



駐在員事務所



ベトナム

業務協力



ベトコムバンク
ベトナム外国投資庁



インド

業務提携



インドステイト銀行

タイのことなら
何でも聞いてください!

トレーニー:空本大



タイ

業務提携



行員派遣



カシコン銀行

まだまだ成長を続ける
ASEANとインドの
ビジネスをお手伝いします!

所長:中野弘章



シンガポール



駐在員事務所





中国(北京)

業務提携



中国銀行(Bank of China)



台湾

業務提携



中国信託ホールディング



フィリピン

業務提携



メトロポリタン銀行

究極の多様性を持つ国インドネシア!
多様なご要望にお応えします!

トレーナー:香川徹也



インドネシア

業務提携



行員派遣

バンクネガラインドネシア



現地取引をサポート!!

- 業務提携先の海外金融機関を活用し、現地での口座開設・金融取引をサポートします。
- クロスボーダーローンやスタンドバイL/C発行、政府系提携金融機関との協調融資により、現地法人の資金調達をサポートします。
- 商談会や交流会の開催により、現地での販路・調達先拡大をサポートします。

開催実績

FBC上海2015ものづくり商談会

毎年、中国上海市で開催される中国最大規模の商談会です。

Mfairバンコク2015ものづくり商談会

タイでの部材調達・委託先の開拓、販路拡大を目的とする製造業特化型の商談会です。

ベトナムビジネス交流会 in ハノイ

「基幹システム共同化」参加行(百十四銀行、常陽銀行、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ)が、ベトナム進出済(或いは進出検討中)の日系企業と広く情報交換や企業交流を図る機会をご提供しました。

関西5行合同セミナー&交流会

池田泉州銀行、滋賀銀行、南都銀行、百五銀行と合同で上海・蘇州近郊に進出されているお客さまを対象に、ビジネス交流を図る機会をご提供しました。



FBC上海2015ものづくり商談会



安心をサポート!!

豊富な海外ネットワークでお客さまの海外ビジネスをサポートします!

安全対策

総合警備保障株式会社
セコム株式会社

物流

日本通運株式会社

情報提供

国際協力銀行

リスクマネジメント

大手損害保険会社4社

通信

NTTコミュニケーションズ
株式会社現地での
資金調達だけでなく、
あらゆる面から
サポートします。

海外進出コンサルティング

株式会社フォーバル
三菱UFJリサーチ&
コンサルティング株式会社

対外取引(輸出など)リスク

独立行政法人日本貿易保険

外国人技能実習生・研修生の受け入れ

公益財団法人国際研修協力機構(JITCO)

114の金融教育

小学生
向け

夏休み 親子体験教室

銀行の役割はもちろん、紙幣の偽造防止技術について学んだり、銀行内の見学を行うなど、楽しんで金融について学ぶ教室を開催しています。

体験内容をご紹介します

- お札のひみつ
- 銀行内の見学
- 本物の1億円や金塊の重さを体験 など



中学生
向け

職場体験学習

教育活動支援の一環として、職場見学・体験を受け入れています。店内見学のほか、お客さまのご案内係や自分の口座を作成する体験など、各営業店でさまざまなカリキュラムを企画しています。

体験内容をご紹介します

- 銀行についてのお話
- 銀行内の見学
- 自分の口座をつくってみよう
- お客さまのご案内係を体験する など



なぜ、金融に関する知識が必要??

私たちが暮らしていくうえで必要な「お金」。お金に関する知識は必要なのに、詳しく教えてくれる機会はあまりありません。しかしながら、今や数多くある金融商品の中から自分のニーズに応じた金融商品を自分で選ぶ自己責任の時代になっています。当行では、楽しみながら金融についての知識を身につけることができるようさまざまな取り組みをしています。



高校生
向け

エコノミクス甲子園

高校生の皆さんが楽しみながら金融知力を身につけられるよう、毎年、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園 香川大会」を開催しています。

大会概要をご紹介

- 第1ラウンド 筆記クイズ
- 第2ラウンド 早押しクイズ
- 決勝ラウンド ボードクイズ

優勝チームは全国大会(東京)へ!!

さらに全国大会で優勝したチームは
ニューヨーク研修旅行にご招待!

現地で活躍する様々な方へのインタビュー
や経済に関する様々な場所を見学します。



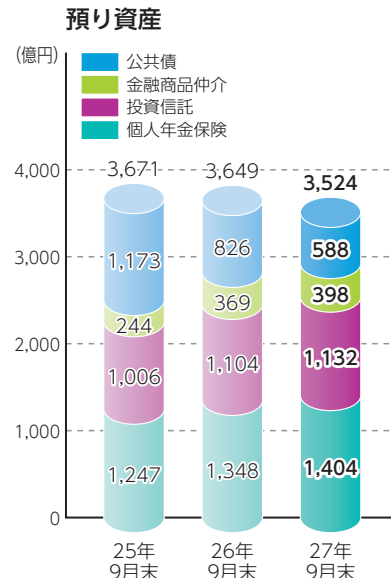
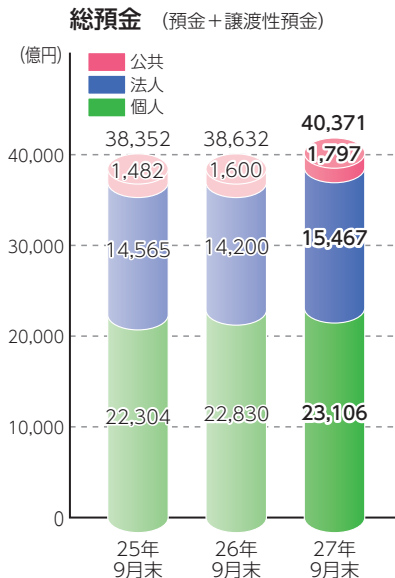
業績ハイライト

■ 総預金・貸出金等の残高推移

総預金

当中間期末の総預金残高は、個人、法人及び公共預金がいずれも増加したことにより、前年同期末比1,739億15百万円増加して、4兆371億72百万円となりました。

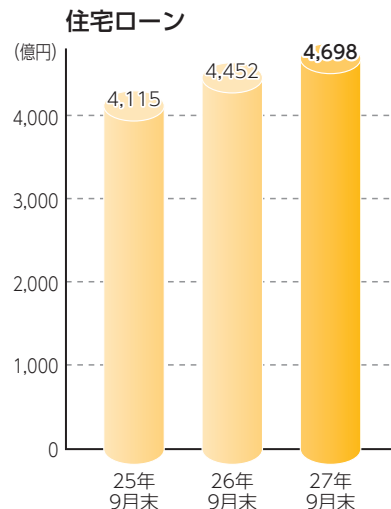
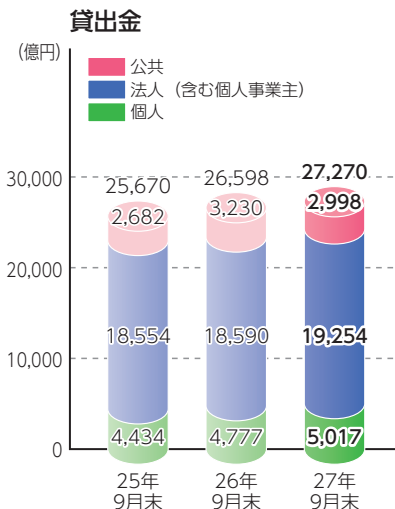
また、預り資産残高は個人年金保険、投資信託及び金融商品仲介が増加しましたが、公共債の減少により前年同期末比124億82百万円減少し、3,524億18百万円となりました。



貸出金

当中間期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人及び個人向け貸出金が増加したことにより、前年同期末比672億12百万円増加して2兆7,270億29百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当中間期末の住宅ローンの残高は、前年同期末比245億99百万円増加し、4,698億14百万円となりました。



業績の推移

当中間期の実質業務純益は、債券関係損益の改善などにより、前年同期比28億99百万円増加して、99億99百万円となりました。

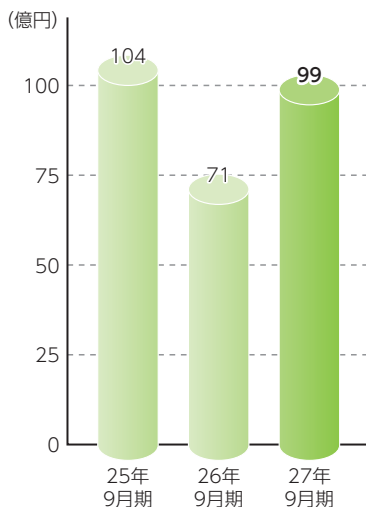
経常利益は、実質業務純益及び株式等関係損益の改善などにより、前年同期比30億68百万円増加して117億64百万円となりました。

また、中間純利益は前年同期比32億71百万円増加して79億93百万円となりました。

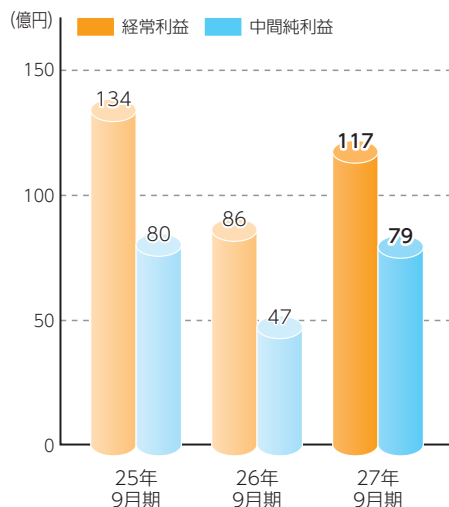
*実質業務純益とは

実質業務純益 = 業務粗利益(資金利益 + 受取手数料 + 債券関係損益など) - 経費

実質業務純益

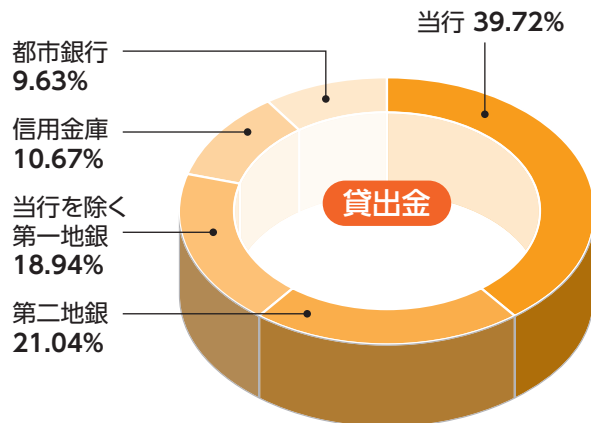
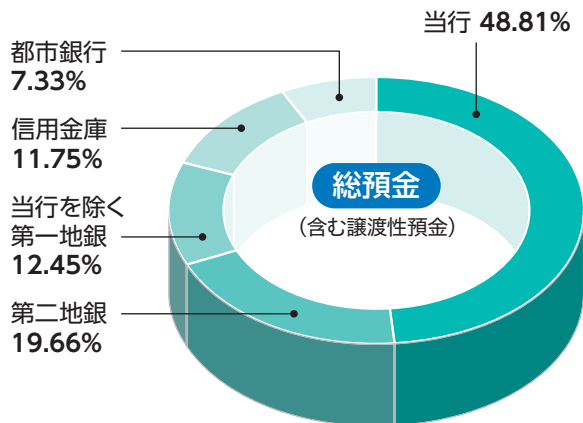


経常利益・中間純利益



香川県内シェア

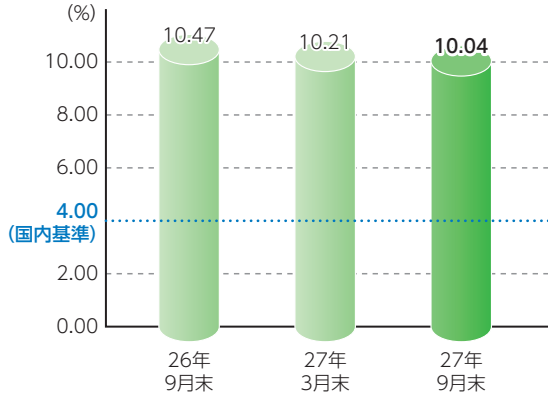
(平成27年9月30日現在)



経営の健全性について

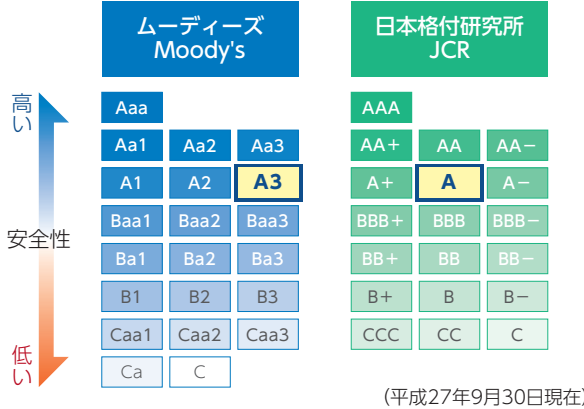
■ 連結自己資本比率の推移

平成26年3月末より適用された自己資本比率規制（バーゼルⅢ、国内基準）に基づく当行の連結自己資本比率は、平成27年9月末現在で10.04%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



■ 格付

当行は、ムーディーズ社 (Moody's) から長期信用格付について「A3」を、日本格付研究所 (JCR) から長期信用発行体格付について「A」の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



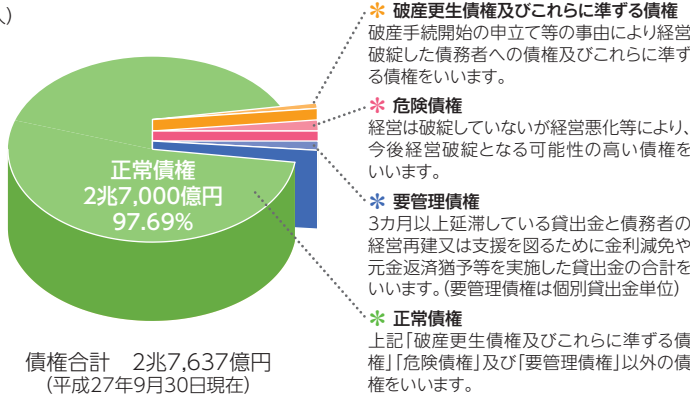
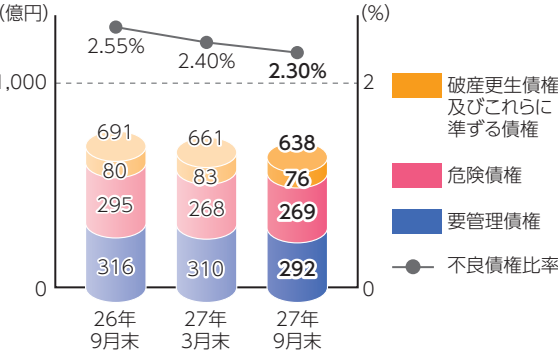
■ 金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比23億35百万円減少し、637億55百万円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.10ポイント低下して2.30%となりました。

* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額（貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金〈貸出金に準ずるもの〉）及び銀行保証付私募債を対象とし債務者単位で区分しております。

金融再生法開示債権の推移と対応状況（金額単位未満：四捨五入）



株式情報

■ 株式のご案内

- ▶ **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- ▶ **定時株主総会**
毎年6月に開催いたします。
- ▶ **配当金のお支払**
期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。
中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対しお支払いいたします。
なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。
- ▶ **基準日**
定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

- ▶ **株式事務取扱場所**
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

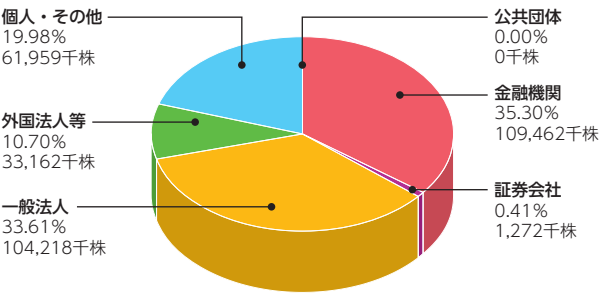
- 各種お問合せ
(郵便物送付先) 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
(ご照会先) 0120-094-777 (通話料無料)
(ホームページアドレス) <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 〈株式に関する各種手続き〉
届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届ください。

- ▶ **公告掲載方法**
日本経済新聞に掲載いたします。

■ 株式の状況

- ▶ **発行済株式の総数**：310,076千株
- ▶ **株主数**：10,268名
- ▶ **所有者別株式数**



(平成27年9月30日現在)

■ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期間保有していただくために、株主優待制度を導入しました。

- ▶ **対象となる株主さま**
毎年3月末時点(初回は平成27年9月30日)の当行株主名簿に記載された1,000株(1単元)以上所有される株主さま

- ▶ **優待制度の内容**
地元香川県の特産品を中心に掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。なお、専用カタログは毎年6月(初回は平成27年12月)の発送を予定しております。



保有株式数	専用カタログ商品
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上	5,000円相当

財務データ | 当行単体

中間貸借対照表

科 目	平成27年9月中間期末 (平成27年9月30日現在)
(資産の部)	
現金預け金	362,682
買入金銭債権	31,915
商品有価証券	25
金銭の信託	4,877
有価証券	1,426,022
貸出金	2,727,029
外国為替	9,025
その他資産	29,183
その他の資産	29,183
有形固定資産	38,368
無形固定資産	3,029
前払年金費用	2,807
支払承諾見返	18,482
貸倒引当金	△14,712
資産の部合計	4,638,736

(単位:百万円)	
科 目	平成27年9月中間期末 (平成27年9月30日現在)
(負債の部)	
預金	3,828,888
譲渡性預金	208,284
コールマネー	26,991
債券貸借取引受入担保金	87,735
借入金	118,239
外国為替	224
社債	10,000
その他負債	58,271
未払法人税等	1,540
リース債務	453
資産除去債務	179
その他の負債	56,098
睡眠預金払戻損失引当金	484
偶発損失引当金	97
繰延税金負債	12,554
再評価に係る繰延税金負債	6,167
支払承諾	18,482
負債の部合計	4,376,422
(純資産の部)	
資本金	37,322
資本剰余金	24,920
資本準備金	24,920
利益剰余金	146,260
利益準備金	12,402
その他利益剰余金	133,858
固定資産圧縮積立金	267
別途積立金	124,161
繰越利益剰余金	9,429
自己株式	△5,036
株主資本合計	203,466
その他有価証券評価差額金	53,037
繰延ヘッジ損益	△3,075
土地再評価差額金	8,704
評価・換算差額等合計	58,665
新株予約権	182
純資産の部合計	262,314
負債及び純資産の部合計	4,638,736

中間損益計算書

(単位:百万円)	
科 目	平成27年9月中間期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)
経常収益	36,290
資金運用収益	25,485
(うち貸出金利息)	16,585
(うち有価証券利息配当金)	8,466
役務取引等収益	4,708
その他業務収益	3,112
その他経常収益	2,984
経常費用	24,525
資金調達費用	2,268
(うち預金利息)	1,035
役務取引等費用	1,808
その他業務費用	615
営業経費	18,546
その他経常費用	1,286
経常利益	11,764
特別損失	36
税引前中間純利益	11,728
法人税、住民税及び事業税	2,280
法人税等調整額	1,453
法人税等合計	3,734
中間純利益	7,993

財務データ | 連結

中間連結貸借対照表

		(単位: 百万円)	
科 目	平成27年9月中間期末 (平成27年9月30日現在)	科 目	平成27年9月中間期末 (平成27年9月30日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	362,827	預 金	3,820,823
買入金銭債権	31,915	譲渡性預金	203,784
商品有価証券	25	コールマネー及び売渡手形	26,991
金銭の信託	4,877	債券貸借取引受入担保金	87,735
有価証券	1,425,138	借入金	118,792
貸出金	2,721,545	外国為替	224
外国為替	9,025	社債	10,000
リース債権及びリース投資資産	16,806	その他負債	65,653
その他資産	32,442	退職給付に係る負債	168
有形固定資産	43,073	役員退職慰労引当金	37
無形固定資産	4,209	睡眠預金払戻損失引当金	484
退職給付に係る資産	5,138	偶発損失引当金	97
繰延税金資産	1,299	繰延税金負債	13,286
支払承諾見返	18,482	再評価に係る繰延税金負債	6,167
貸倒引当金	△17,598	支払承諾	18,482
		負債の部合計	4,372,728
		(純資産の部)	
		資本金	37,322
		資本剰余金	24,920
		利益剰余金	150,921
		自己株式	△5,036
		株主資本合計	208,128
		その他有価証券評価差額金	53,125
		繰延ヘッジ損益	△3,075
		土地再評価差額金	8,704
		退職給付に係る調整累計額	1,585
		その他の包括利益累計額合計	60,339
		新株予約権	182
		非支配株主持分	17,831
		純資産の部合計	286,481
資産の部合計	4,659,210	負債及び純資産の部合計	4,659,210

中間連結損益計算書

		(単位: 百万円)	
科 目	平成27年9月中間期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)	科 目	平成27年9月中間期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)
経常収益	40,028	経常費用	27,432
資金運用収益	25,506	資金調達費用	2,098
(うち貸出金利息)	16,620	(うち預金利息)	1,034
(うち有価証券利息配当金)	8,452	役員取引等費用	1,453
役員取引等収益	5,434	その他業務費用	615
その他業務収益	3,112	営業経費	19,430
その他経常収益	5,974	その他経常費用	3,834
経常利益	12,595	経常利益	12,595
特別利益	20	特別利益	20
特別損失	37	特別損失	37
税金等調整前中間純利益	12,578	税金等調整前中間純利益	12,578
法人税、住民税及び事業税	2,544	法人税、住民税及び事業税	2,544
法人税等調整額	1,436	法人税等調整額	1,436
法人税等合計	3,980	法人税等合計	3,980
中間純利益	8,597	中間純利益	8,597
非支配株主に帰属する中間純利益	520	非支配株主に帰属する中間純利益	520
親会社株主に帰属する中間純利益	8,076	親会社株主に帰属する中間純利益	8,076

当行は、下記10社を子会社等として中間連結財務諸表を作成しております。

日本橋不動産株式会社
百十四ビジネスサービス株式会社
株式会社百十四人材センター
百十四財田代理店株式会社
Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited
百十四リース株式会社
百十四総合保証株式会社
株式会社百十四ディーシーカード
株式会社百十四システムサービス
株式会社西日本ジェーシービーカード

店舗等の配置

(平成27年11月30日現在)

●本・支店 ●出張所
●代理店 ●その他 (単位:カ所)

	香川県内	香川県外	計
本・支店	65	38	103
出張所	21	0	21
計	86	38	124
店舗外 ATM コーナー	161	16	177

